

登録コード	TSX32600	開講年度	2026				
授業科目	都市空間デザイン学実験				担当教員	佐倉 弘祐	
英文授業名	Advanced Laboratory Work in Design Studies of Urban Space				副担当		
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	実験	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				⇔	「デザインビルド教育」について学び、構築物が造られ利用されるまでの一連のプロセスを実践を介して体得することで、工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観を修得できるようになる。	
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				⇔	「デザインビルド教育」について学び、構築物が造られ利用されるまでの一連のプロセスを実践を介して体得することで、環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力が身に付くようになる。	
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				⇔	「デザインビルド教育」について学び、構築物が造られ利用されるまでの一連のプロセスを実践を介して体得することで、さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力が身に付くようになる。	
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				⇔	「デザインビルド教育」について学び、構築物が造られ利用されるまでの一連のプロセスを実践を介して体得することで、専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力が身に付くようになる。	
(2)授業の概要	構想段階から設計、施工、管理まで一貫して学生が関わる「デザインビルド教育」について学び、実際に対象地を決めて実践することで、構築物が造られ利用されるまでの一連のプロセスを体得する。製作する構築物の用途・規模は年ごとに変動するが、対象地の近隣住民と共同で実践できるよう、近隣住民と交流を図ることも重要となる。						
(3)授業計画	第1回 ガイダンス 第2回~3回 デザインビルド教育についての基礎知識 第4回~5回 対象地の選定 第6回~10回 対象地の現地調査、近隣住民へのヒアリング、構築物の選定 第10回~25回 近隣住民と共同でのデザインビルド 第26回~第29回 デザインビルド期間の記録を整理・分析 第30回 近隣住民への成果発表会						
(4)成績評価の方法	毎週の課題への取り組み方、デザインビルド期間中の近隣住民への接し方、チーム内での貢献度、成果発表会の内容により総合的に評価します。基本的に90点以上を秀、80点以上90点未満を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可とする。						
(5)成績評価の基準	成果発表会の内容を60点、その他の毎週の課題への取り組み方、デザインビルド期間中の近隣住民への接し方、チーム内での貢献度等を40点、合計100点で成績を評価する。						
(6)事前事後学習の内容	特になし						
(7)履修上の注意	特になし						
(8)質問,相談への対応	授業の最後に質問の時間を設ける。 またメールでも受け付ける。 e-mail:kosuke_sakura@shinshu-u.ac.jp						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						